



神奈川歯科大学 理事長

鹿島 勇

## 革新元年

新年明けましておめでとうございます。

改革元年(2010年)で始まり先制的成長戦略(2019年)で終わった本学の再生は、復旧(財政再建)と復興(未来構想)の同時進行を余儀なくされた長き旅路の10年間でした。引き続き、既成概念を破り独創的な発想で新しき道を切り開くためのセカンドステージが始まります。

現代は破壊的なイノベーション、すなわち革新で文明が更新されていく時代、本学は再び0年(2020年)からの新しき旅立ちである革新元年を迎えることになります。

### 新たな未来化構想

時代の変換点といわれる2045年から2010年にバックキャストिंगして描いた本学の未来化10年構想が終わりました。私達は絆の象徴としての人体標本と100年史資料館、附属病院建て替え、法人主催の文化事業(ジャカランダフェスティバル)、グローバル化と多様化への対応(留学生の確保)そして東京歯科衛生専門学校の事業継承等、策定された戦略の元にそ

れらを形にしてきました。

そして再び変換点から現在に遡り、次の10年を見据えた新たな設計図に従って更なる進化を目指すことになります。その最初の挑戦が東京サイバーサテライトクリニックの具現化です。その成功は、革新的先端歯科医療技術の開発からアジアにおける本学の拠点化、グローバル医療人の育成、バカロレア構想、新職種の創発そしてキャンパス改造や労働環境整備等へと派生していきます。教職員一人一人の意識変革と各組織の革新力に期待するところです。

### AKB48と

#### ボヘミアン・ラブソディ

これからの時代は、0.1%以下のイノベーション(発明)と99.9%以上のイノベーションで創られていくと言われています。その90%以上を占めるイノベーションとは、既に存在している物や事を組み合わせ、今までにない新しい切り口、捉え方、活用方法をクリエイティブしていくことです。この概念は個人や組織を問わず普遍的で

若者に人気のAKB48もその一例です。従来、アイドルはプロダクション側が一方的に創り上げ、メディアを通して視聴者に提供してきました。そこに総選挙という“事”を組み合わせることによって、アイドルの価値やメンバー構成に視聴者が直接関わることができます。それはアイドルと視聴者の一体

感を生み出すという、今までになかった発想であり、“物”と“事”とのイノベーション成功例の一つと言えます。

昨年、ボヘミアン・ラブソディというイギリスのロックバンドグループであるクイーンの伝記映画が話題になりました。彼等の音楽ジャンルであるロックンロールも“事”と“物”を組み合わせた一つのイノベーションと言えます。それは既存していたアメリカのカントリーミュージックとオールドジャズから派生したブルース、リズムアンドブルース、ゴスペル等の異なる音楽が組み合わせられて生まれた新しいサウンドだからです。彼等の人気の秘密は、そのイノベーションの繰り返しによる音の進化と言えるのかもしれませんが。

私達は医療人として、専門知識を広げ深めると同時に、専門外である異分野についても幅広く多くの情報や知識を身に付けイノベート力を高めたいと考えています。

### イノベート力とFMブルー湘南

ラジオが主流であった私達の世代は、オールナイトニッポンとジェットストリームで学生時代を過ごしてきました。と言っても過言ではありません。今回FMブルー湘南から、毎週1回、30分間の電波を1年間買い取ることにしました。条件は、番組の編成から制作までを私達で創り上げ、局側は放送禁止用語のみをチェックするというもので

す。それを本学の教学部と人事課に採用した30代前半の4人の新入職員に丸投げしました。彼等が企画編成から取材、放送までを全てプロデュースし、50本近い番組を制作することになります。

その目的は人材育成にあります。彼等の仕事とラジオとは、広報というキーワードで類似点がありますが、自分達で全て制作となると、現在の仕事とはかなり乖離します。この乖離が隔たれば隔たる程、イノベーションに必要な能力が身に付くはずであり、付けてもらわねばなりません。リベラルアーツ、すなわち専門外の知識の蓄積と経験の積み重ねが、今までにない新しい物や事をクリエイティブする発想力の核となります。この企画は、10～20年後を見据えたミレニアル世代への先行投資であり、本学の将来を背負って立つ人材へと成長することを期待するものです。

### おわりに

2010年からの10年間、法人理事長として何役もの“私の中の私の私”を演じてきました。そして息つく間もなく第2幕を迎えることになります。これまで演じてきた過去のステージを振り返るも、これから演じる未来のシナリオを凝視するも未だ破顔一笑するに至りません。各々の役を演じ切って舞台を降りていった多くの同胞に思いを馳せながら、理事長として11回目の新年を迎えます。

## 新年のごあいさつ

## あけましておめでとうございます



神奈川歯科大学 学長 櫻井 孝

Society 5.0、2040 年に向けた高等教育のグランドデザイン等、新たな社会の創造に向けた様々な施策が提唱される中、2020 年の幕が上がりました。歯学教育におきましても、今年は臨床実習終了時の臨床能力に対する実地試験が正式に実施される見込みです。また、臨床実習開始前に、病院実習に参加できる資格を取得しなければならないスチューデント・デンティスト制度も開始されます。本学の学生達がそれらに円滑に対応できるよう準備を進めてまいります。



神奈川歯科大学 副学長・大学院歯学研究科長 榎木 恵一

歯科医師は、う蝕や歯周病の単なる治療や予防だけでなく、口腔機能の維持管理や全身疾患の予防についても担うことが求められる様に変化し、歯科医師にとってこれまでにない業務の広がりの中で、楽しい時代が幕を開けようとしています。神奈川歯科大学は、自由な気風と柔軟性に富んでおり、新しい時代に向けた教育、臨床、研究の構築を先んじることができる大学と思います。令和の新しい時代に、神奈川歯科大学にご期待ください。



神奈川歯科大学附属病院 病院長 小林 優

新病院開設から 2 年を無事に迎えることが出来ました。これも一重に皆様の御支援の賜物と感謝申し上げます。順調に患者数も増加しており、今年度の償却前収支の黒字化は何とか達成可能な状況です。しかし、これから始まる働き方改革の影響は相当に深刻で、最終的な償却後収支の黒字化には一層の努力が必要だと思います。現在、業務の体制見直しと効率化に向けて鋭意準備を進めているところですが、皆様の御理解と御協力のほど宜しくお願い申し上げます。



東京歯科衛生専門学校 学校長 佐々木ひろみ

今年は TDH にとってどのような一年になるのだろうかと思いを馳せながら新しい年を迎えています。KDU の系列校として 2 年目になる本年、現状維持ではなく一歩先へ踏み出さなければなりません。その為には、全学生が本校を「安心安全」で「夢を実現できる」学校だと実感できるよう、昨年の課題をしっかりと洗い出し、解決の為のアクションを起こしていくことが必要です。学生の気持ちに寄り添った学び易い学校になるよう今年も一心に努力していく覚悟です。



神奈川歯科大学同窓会会長 大舘 満

今年の新年の抱負は昨年と同様に天災による災害の減少です。昨年は 8 月 8 日の台風 9 号、9 月 5 日の台風 13 号、ともに沖縄、九州方面。そして、9 月 10 日の台風 15 号、10 月 6 日の台風 19 号は東海、関東地方を襲い、その後、10 月 25 日の台風 21 号による豪雨で被災地が再度被災する大きな災害になりました。その後の政府発表で激甚災害に指定され、同窓会も全国都道府県支部、そして会員に支援金の募金をお願いすることになりました。安全、安心を祈っております。



神奈川歯科大学短期大学部 学長 長谷 徹

早くも新元号の令和が 2 年目を迎えました。まず、歯科衛生士に対する社会の期待が益々高まっているにもかかわらず、歯科衛生学科の入学者確保が思うように進まない現状を変えねばなりません。同様に、世界に誇れる日本の高度医療システムの一翼を支えている看護師はその教育年限が 3 年制から 4 年制へと多くが移行する中、本学の進むべき道はどうあるべきか、新たな時代に入り皆様と共に早急に答えを見付ける年にしたいと思います。



神奈川歯科大学 副学長 菅谷 彰

昨年文部科学省は、2021 年度のセンター入試の英語外部評価検定導入を急遽延期すると発表しました。その賛否は別としても、教育評価の在り方が少しずつ変化している感否めません。ここ数年の入試のあり方が注目されることです。現在の歯学部教育は、国家試験の合格率を重要視するあまり、本来社会に求められる歯科医師の排出という点を真に評価したものが疑問です。今年 9 月に本学が主催する歯科医学教育学会において、「歯科医学教育の原点から未来を創る」をテーマとした学術大会が予定されています。多くの参加者を期待するとともに、優秀な歯科医師輩出のため教育機関としての意識改革の年となることを期待します。



横浜研修センター・横浜クリニック 院長 井野 智

横浜研修センターは、2004 年の設置以来、関わられた多くのスタッフの努力が報われ、ここ数年は財政的にも安定した組織へと成長してきました。しかしながら、本年 4 月に待ったなしで本格実施される「働き方改革」を機に、アカデミアとしての矜持を意識しつつも、さらなる効率化を図らなければ、組織の永続性は困難な状況へと転落することになります。柔軟な意識改革と実効性を目指して、是非、ご協力のほど、宜しくお願い致します。



神奈川歯科大学 法人事務局長 菅原光則

「変えられるものを変える勇気を！」  
世の中には「深い根拠はないが、何となく正しい」とされていることが沢山あります。この 10 年を振り返ったとき、全ての常識を疑い、状況に応じた対応をしたのが再生の成功です。2020 年は「その先」の 10 年への革新元年です。神学者・ニーバーの言葉より「変えられるものを変える勇気を、変えられないものを受け入れる冷静さを、そして両者を識別する知恵を与えたまえ」私の好きな言葉を紹介し、2020 年のスタートを皆様と共に歩みたいと思います。



神奈川歯科大学短期大学部同窓会会長 名取すみ子

令和を迎え皆様方におかれましてはご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃より同窓会に格別のご理解、ご協力をいただき感謝しております。昨年は災害も多く心を痛めています。一刻も早い復興をお祈り致しております。本年は東京オリンピック開催など世界各国の方と繋がる最良の年だと思います。大学・短期大学部・同窓会も更に絆を深め飛躍の年になりますよう祈念し新年のご挨拶といたします。



# 2019 年度競争的資金獲得一覧

種別	課題番号	研究種目	研究代表者	所属	職名	研究課題名
科学研究費助成事業	16H05525	基盤研究 (B)	木本 克彦	口腔統合医療学講座	教授	多軸鍛造技術を応用した次世代 MDF 純チタンの医療材料への展開
	17K01377	基盤研究 (C)	高垣 裕子	歯学部	特任教授	座位・身体不活動により脆弱化する骨の代謝を非侵襲的にモニターする測定法の開発
	17K11632	基盤研究 (C)	松尾 雅斗	口腔科学講座	教授	微小循環を指標とした数値 simulation による歯周組織再生療法評価法の確立
	17K11694	基盤研究 (C)	山本 裕子	短期大学部歯科衛生学科	講師	腸内環境が唾液の質と感染防御をつかさどる：大腸が唾液中 IgA に与える効果の解明
	17K11721	基盤研究 (C)	富山 潔	口腔統合医療学講座	准教授	抗菌剤処理後のう蝕、歯周病モデルポリマイクロバイアルバイオフィーム群集構造の解析
	17K11859	基盤研究 (C)	鈴木 健司	顎顔面病態診断治療学講座	講師	変異型 p53 が導くエンドサイトーシス異常の解析
	17K11860	基盤研究 (C)	生駒 丈晴	顎顔面病態診断治療学講座	助教	癌の新生血管を正常化させるサイトカイン CXCL14 の臨床的意義
	17K11922	基盤研究 (C)	竹内 良平	歯学部	特任教授	GFP ラットとの血管吻合ラット抜歯窩骨欠損修復部位の超音波刺激による骨髄細胞動員
	17K11984	基盤研究 (C)	両角 俊哉	口腔統合医療学講座	准教授	スケーリング後歯血症に対する高齢者生体応答の解析と光治療による予防法の確立
	17K12028	基盤研究 (C)	木本 一成	災害医療・社会歯科学講座	准教授	インプラントメンテナンスでの低濃度フッ化物による創傷治癒の分子機構の解明
	17K12071	基盤研究 (C)	星野 由美	短期大学部歯科衛生学科	准教授	入院加療に起因するオーラル・フレイルの包括的スクリーニング指標の開発と基礎研究
	17K17144	若手研究 (B)	飯塚 純子	口腔統合医療学講座	講師	コロジオン膜を利用した積極的再石灰化療法の開発と審美応用への展開
	17K17340	若手研究 (B)	大塚 剛郎	口腔統合医療学講座	助教	呼吸様式が認知機能に与える影響について：NIRS による検討
	18H03018	基盤研究 (B)	山本 龍生	災害医療・社会歯科学講座	教授	政策介入を目指した高齢者歯科口腔保健における地域差と個人および環境要因
	18K09586	基盤研究 (C)	小牧 基浩	高度先進口腔医学講座	准教授	歯周炎自然発症サルを用いた歯周炎関連分子の探索と歯周炎発症前診断への応用
	18K09587	基盤研究 (C)	室町 幸一郎	口腔統合医療学講座	助教	細胞膜上のシアル酸修飾を起点とした修復象牙質形成機序の解明
	18K09588	基盤研究 (C)	武藤 徳子	口腔統合医療学講座	准教授	歯髄治癒過程におけるマクロファージ・歯髄幹細胞・再生神経のクロストークの解明
	18K09610	基盤研究 (C)	高橋 聡子	口腔科学講座	准教授	循環器疾患を有する患者の歯周病治療戦略—抗酸化物質クルクミンの効果の基礎的解析
	18K09670	基盤研究 (C)	濱野 奈穂	高度先進口腔医学講座	講師	ニケイ酸リチウムガラスに対する高機能表面改質の効果に関する基礎的研究
	18K09779	基盤研究 (C)	小澤 重幸	顎顔面病態診断治療学講座	講師	癌細胞の飢餓を引き起こすケモカイン CXCL14 の糖代謝制御機構の解明
	18K09844	基盤研究 (C)	山口 徹太郎	口腔統合医療学講座	教授	セファロによるものでは世界最大 1000 人の顎顔面形態に関する網羅的ゲノム解析
	18K09869	基盤研究 (C)	木本 茂成	口腔統合医療学講座	教授	小児期における口腔機能発達評価指針作成のための調査研究
	18K09894	基盤研究 (C)	吉田 彩佳	口腔科学講座	講師	抗がん剤線量療法を応用した誤嚥性肺炎コントロール—新規口腔カンジダ症予防法の開発
	18K09895	基盤研究 (C)	遠山 歳三	歯学部	特任講師	赤外自由電子レーザーによる殺菌作用及び歯周病原因子の不活性化作用についての研究
	18K09925	基盤研究 (C)	玉置 勝司	全身管理医歯学講座	教授	生活習慣病およびフレイル予防改善のための口腔内指標の確定に関する臨床研究
	18K15648	若手研究	谷口 紀江	顎顔面病態診断治療学講座	助教	咀嚼不全がヒト海馬へ及ぼす影響について MRI 分析
	18K17035	若手研究	清水 智子	高度先進口腔医学講座	助教	唾液腺 BDNF の中性脂肪低下作用についての研究
	18K17132	若手研究	大野 晃教	口腔統合医療学講座	講師	機能的近赤外光イメージング法を応用した補綴治療の補助診断システムの構築
	18K17179	若手研究	黒田 英孝	全身管理医歯学講座	講師	三叉神経（痛覚特異的ニューロン群）の ATP を介した炎症性疼痛の解明
	18K17267	若手研究	大谷 菜衣子	口腔統合医療学講座	助教	根未完成歯の硬組織誘導を目的とした新規治療法開発—覆髄剤と低出力パルスの併用—
	18K17268	若手研究	保田 将史	歯学部	特任講師	乳児期ストレスに起因する口腔顔面領域での異常疼痛の発症メカニズムについて
	18K17302	若手研究	高城 大輔	全身管理医歯学講座	助教	認知症高齢者における口腔セルフケア評価指標の開発
	18K17303	若手研究	東 雅啓	口腔科学講座	講師	マルチオミックス解析を用いたフレイルの唾液バイオマーカーの探索
	19K02626	基盤研究 (C)	山本 伊佐夫	災害医療・社会歯科学講座	講師	子ども虐待予防：舌喉頭矯正術による児の育児困難症状改善と母親の疲労改善の評価
	19K10080	基盤研究 (C)	倉田 俊一	歯学部	特任教授	頭頸部扁平上皮癌の悪性転化におけるクロマチン・リモデリング
	19K10119	基盤研究 (C)	青山 典生	口腔統合医療学講座	准教授	血管内皮機能を介した歯周病による循環器系への影響の解析
	19K10161	基盤研究 (C)	二瓶 智太郎	口腔科学講座	教授	レーザーによる新規セラミック修復法の開発
	19K10175	基盤研究 (C)	齋田 牧子	口腔統合医療学講座	助教	顎骨壊死に対する抗酸化療法の開発
	19K10295	基盤研究 (C)	李 昌一	横須賀・湘南地域災害医療歯科学研究センター	教授	MCI・認知症で生ずる活性酸素種の同定と抗酸化物質によるストレス軽減法の検討
	19K10370	基盤研究 (C)	城戸 幹太	歯学部	診療科講師	肥満および脂質異常症による術後痛増強メカニズムの解明
	19K10427	基盤研究 (C)	猿田 樹理	口腔科学講座	准教授	唾液メタボロームマッピング解析を用いた精神疾患の病態解明および臨床応用法の開発
	19K10454	基盤研究 (C)	三辺 正人	口腔統合医療学講座	教授	歯周病と口腔内細菌叢に着目した非アルコール性脂肪性肝炎・肝がん発症予防法の確立
	19K10455	基盤研究 (C)	平嶺 浩子	高度先進口腔医学講座	助教	歯周炎発症カニクイザルを用いた病原細菌の特定と細菌伝播経路の解明
	19K10470	基盤研究 (C)	佐藤 武則	口腔科学講座	講師	免疫制御を応用した新規歯周病予防法の開発
	19K10862	基盤研究 (C)	天野 カオリ	口腔科学講座	講師	卵巣摘出歯周炎ラットにおける損傷修復機構—エストロゲンの直接作用と HSP 発現推移
	19K14272	若手研究	李 正姫	総合教育部	講師	教育的介入を取り入れた歯学部生における学業成功のカリキュラムの開発
	19K14331	若手研究	飯田 貴俊	全身管理医歯学講座	講師	口腔リハビリテーション学における歯学生教育のための構音障害体験シミュレータの開発
	19K19041	若手研究	藤巻 龍治	総合歯科学講座	助手	難治性のバイオフィーム感染症に対する多機能性 EDTA 系根管洗浄剤の開発
	19K19144	若手研究	一色 ゆかり	口腔統合医療学講座	助教	3D プリンターで製作したデジタル義歯の臨床エビデンスの構築
	19K19338	若手研究	平田 貴久	口腔統合医療学講座	助教	2 型糖尿病が生命・心血管疾患に及ぼす影響—歯周病実態比較調査による解析—
	19K19632	若手研究	寺門 亜子	短期大学部看護学科	教授	一般病棟で緩和ケアに携わる看護師のストレス～日本と豪州との比較検討による一考察～
	19K24082	研究活動スタート支援	藤岡 隼	歯学部	特任講師	中赤外・遠赤外レーザーを用いた新規歯膜開発と機能評価
	19K24107	研究活動スタート支援	坂口 和歌子	口腔科学講座	助教	サリバオミクス解析を用いた唾液ストリンゲン関連物質の同定
	19K24108	研究活動スタート支援	稲葉 啓太郎	総合歯科学講座	助手	Porphyromonas salivosa 線毛の分類と伝播の可能性に関する研究
	19K24133	研究活動スタート支援	持田 悠貴	災害医療・社会歯科学講座	助教	歯科保健指導を伴う成人歯科健診による歯科および医科医療費抑制に向けた検討

## 歯学部教育プログラムの さらなる改革の時期へ！

神奈川歯科大学歯学部総合教育部 部長  
カリキュラム運営・成績管理部会委員長

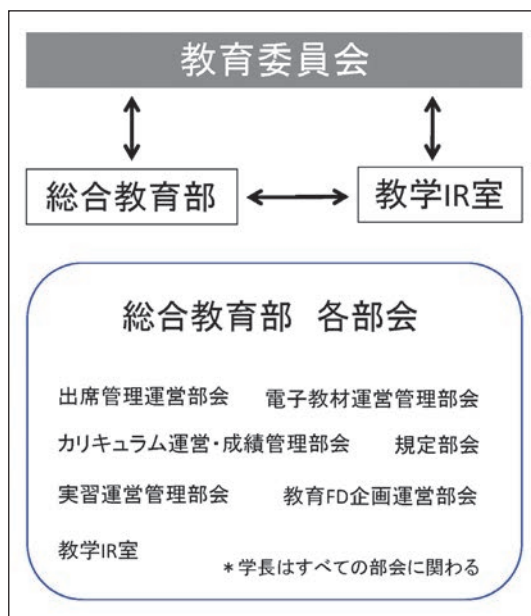
二瓶智太郎

現在、本学歯学部で稼働している教育プログラムは、短期集中型の「5ステージ制」です。連続性をもって学修し、各ステージごとに試験を行い、必要に応じて授業録画のe-learningシステムを活用することにより弱点を克服し、着実に授業を理解できる形式として2013年度より開始しました。また、成績評価にはf-GPA（ファンクショナルグレートポイントアベレージ）制度の導入、厳格な出席管理システムによって、学生の日々の努力を成果に繋げるシステムを構築しました。

私が部長に就任した2017年度からは、教学IR（Institutional Research）の構築、そのデータ分析の開始、このデータを用いて進級に必

要なGPAの引き上げ（1.0→1.5へ）を行いました。また、学生のモチベーション向上のため、追加履修講義と追加履修試験、最終追加履修講義と最終追加履修試験などを廃止し、その代わりにモジュール試験後のフィードバック講義とフォローアップ学修の導入を行い、よりきめ細かい学修サポートを行います。一方、留学生に対する母国の修得単位や時間数に合わせたシラバスの調整や日本語教育の充実化へと変更させました。また、教育管理・作問システムを行うLMSの一本化に向けたシステムの構築、PCルールの開設などを含めて、多くの教育改革を総合教育部を中心として進めてきました。

本教育プログラムがスタートして7年がすでに経過し、国内外の高等教育の動向や少子化となる長期的な視野に基



づき、学生自身の自主性を高めるカリキュラムへの改訂、カリキュラムに則した評価法の見直しと、さらなる教育改革の時期に入っています。

今後とも教職員の皆様にはご協力をいただくこととなりますが、宜しくお願い申し上げます。

## PCルーム完成（1号館4階） ～ ICT 活用の充実に向けて～

1号館4階の旧基礎実習室3が、PCルームとして生まれ変わりました。現在は148席ですが、2020年度には161席に拡張する予定です。それぞれの席にはNetBootシステムで管理されたPCが設置され、4年次の共用試験CBT、e-Learning、KDU-LMSの演習機能を使ったPCでの演習や試験、講義などに利用できるなど、ICT活用教育の充実が図られます。

講義で使用する際は、教員用PCと同じ画面が学生PC

に配信され、プロジェクターを使うより鮮明な画像を見ることができます。短期大学部のアクティブデスクトップ講義にも対応しています。

また、PCはノート型のため各デスクの棚に収納することが可能で、通常の教室としても使用できます。

今年度はCBTの実施を最優先にするために利用を制限しますが、2020年度より、広く利用していただく予定です。





## 2019 年度日本接着歯学会 論文賞受賞

2019 年 9 月 28 日(土)、29 日(日)に開催されました第 38 回日本接着歯学会学術大会(名古屋)におきまして、大学院口腔科学講座の二瓶智太郎教授が 2019 年度日本接着歯学会論文賞を共著者として受賞されました。本受賞は、日本大学歯学部補綴第Ⅲ講座との共同研究で、接着歯学の発展に貢献しうる優れた研究論文と認められたことになります。

論文名は「Effect of silane compounds on bonding

to fused quartz of tri-n-butylboraneinitiated resin」で、Dental Materials Journal Vol.37 No.3 に掲載されております。この論文はコンポジットレジンやセラミックス接着用プライマーに用いられるシランカップリング剤の耐水耐久性の向上を目的とした研究で、疎水性である芳香族を分子内主骨格に導入した新規シランカップリング剤の処理効果を評価した内容となっております。研究に使用した新規のシランカップリング剤は、以

前よりクリニカル・バイオマテリアル学分野と東京理科大学で共同開発している化合物とのことです。この成果は、歯科材料だけでなく工業界における改質剤やシランカップリング剤の分子設計にも応用することが可能だそうです。

本学において地道に研究を進めてきた研究者、また大学間連携の研究として授与されたことは喜ばしいことです。今後の益々の研究のご発展と研究を通じた教育、ならびに社会へのさらなる貢献を期待したいと思います。



左から二瓶教授、筆頭著者の岡崎智世先生(日大)と小泉寛恭准教授(日大)

## デジタル歯科学会 表彰

2019 年 10 月 4 日(金)～6 日(日)に奈良で行われた日本デジタル歯科学会第 10 回学術大会／第 5 回国際デジタル歯科学会にて実施された一般社団法人日本デジタル歯科学会 2019 年度オーラルスキャナーコンペティション CREC Omnicam 部門において大学

院口腔統合医療学講座の川西範繁助教が、最優秀賞を受賞致しました。本学附属病院デジタル歯科診療科を中心に、デジタル技術を応用した歯科治療にさらに注目が集まれば良いと感じる学会となりました。



左から川西範繁助教、末瀬一彦客員教授(大阪歯科)

## 横須賀警察署より感謝状

2019 年 8 月 29 日(木)、神奈川県横須賀警察署より、特殊詐欺被害の未然防止活動『振り込め詐欺撲滅かもめーる』のお届けに、3 年連続で協力させていただいたことで感謝状をいただきました。

この活動は、振り込め詐欺被害防止に関する周知活動として、横須賀警察署と横須賀郵便局が連携し、横須賀市内の皆様には、はがきによる注意喚起を行っているものです。



本学はこれからも地域の皆様に貢献できるよう協力してまいります。

## 神奈川歯科大学剖検センターに感謝状

この度、大学院災害医療・社会歯科学講座教授／神奈川剖検センター長 長谷川 巖先生が、神奈川県川崎署、藤沢署及び秦野署より感謝状を授与されました。警察協力医として死因究明活動に尽力され多大な貢献をされたことにより感謝状をいただきました。



## 世界初の発見 !!

大学院口腔科学講座榎木恵一教授の研究が、「唾液腺の産生因子が不安を緩和」というタイトルで、2019年10月29日付の日本歯科新聞に取り上げられました。

榎木恵一教授は、鶴見大学歯学部斎藤一郎教授、東京医科大学杉本昌弘教授との共同

研究で、唾液で産生される脳由来神経栄養因子 (BDNF) の機能的意義を世界で初めて明らかにし、今注目を集めています。

本研究は、2019年10月12日(土)から14日(月)の間、東京歯科大学で実施された第61回歯科基礎医学学会学術

大会の学術シンポジウム「臓器間ネットワークの基礎的研究と健康寿命の延伸」で、同講座の猿田樹理准教授が発表しました。

榎木教授の研究グループは、今回、唾液腺にBDNFを高発現するマウスを使って分析した結果、唾液腺BDNFが、血中に移行後、海馬でのBDNF量を増加させ、BDNF

レセプター「TrkB」のリン酸化が亢進して、グルタミン酸脱炭酸酵素 (GAD1) を増やし、グルタミン酸からGABAの産生が増加して抗不安的な行動変容を起こすことを突き止めました。この成果は、国際誌 International Journal of Molecular Science に公表されています。

## モンゴル国立医科大学との連携協定

2019年9月10日(火)より13日(金)までの4日間、櫻井学長と本学前解剖学教授の高橋常男先生、菅谷の3名で、大学間連携協定のため、モンゴル国立医科大学を訪問しました。学長のJ. Tsolmon教授、副学長のB. Amarsaikhan教授は、ともに歯学部にも所属

する歯科医師であり、医学の中での歯科医学の重要性を十分理解されている先生方でした。モンゴルの人口300万人中、200万人が生活するウランバートルに新病院が建築され、開院を直前に控えた新病院を見学させていただきました。最先端の医療施設が完備



された新病院は、これからのモンゴルの医療の充実、医学、歯学教育の発展が期待されるものでした。大陸を席卷したチンギス・カンの国モンゴル、

広大な自然豊かな国、温厚な人々、今回の連携協定が、両大学の今後の発展につながることを期待できそうです。

副学長 菅谷彰

## 高大連携協定を締結

2019年10月8日(火)、三浦学苑高等学校と本学は高大連携協定を締結いたしました。

調印式では、三浦学苑高等学校吉田和市長ならびに本学櫻井孝学長が協定書に署名し、本連携に対する今後の期

待について挨拶を述べられました。

今後は、相互の友好関係に基づき、教育について様々な交流を行い、大学教育・高校教育の活性化に向けて、協力しながら取り組みを行っていくこととなります。



吉田和市長 櫻井孝学長

## 第14回神奈川歯科大学白菊会総会及び懇親会

2019年10月5日(土)に、白菊会第14回総会並びに懇親会が執り行われました。

式典には、ご遺族様ら250名の方にご参列賜りました。御献体者2,074柱の御霊に黙祷を捧げ、本学を代表し、櫻井学長よりお言葉を頂戴いたしました。

歯学部2年生中本陸海さんと辰田紗姫さんから、解剖実習の体験と感謝の言葉が語られ、会場からは温かい拍手が贈られました。

次に、7名のご遺族様より学生達に向けてお話を賜りました。心温まる励ましのお言葉に、改めて人間の善意、生

命の尊厳や倫理感を感じてくれたものと思います。

大学院災害医療・社会歯科学講座瀧田助教からの「自治体の歯科保健事業を活用しよう」と題した講話の後、白菊会友の会による心一つになる合唱会を執り行いました。

午後は、代表学生49名、教職員も参加し懇親会が行われました。親しく和やかな雰囲気の中、会員様と若い学生

達にとって、同じ食卓を囲みでの談笑は大いに意義あるものであったと感じます。

こうして、式典は無事に終了致しました。





## 附属病院避難訓練の実施

2019年10月11日(金)、防災訓練が行われ、地震発生後に火災と津波に見舞われるという困難なシナリオのもと、16時20分に緊急地震速報受信の放送を合図に、避難が開始されました。附属病院は建替えにより耐震構造となり、地震時には建物内に留まることが最も安全であるため、訓練においても「まず、その場にて患者様のパニックを防ぐ」ことを念頭にシナリオを作成いたしました。訓練は滞

りなく行われ、16時39分には上層階への避難がすべて完了し、計画通り訓練を終えることができました。

訓練としてはここで終了となりましたが、奇しくも翌日、台風21号による暴風雨や計画運休のため、多くの患者様が来院できない事態となりました。このような実際の災害時には、帰宅困難者への対応や翌日以降の診療体制の検討等、いわゆるBCP(事業継続)計画が重要



であると再認識し、今後の訓練ではこのような事態も想定

したシナリオを検討していく予定です。

## 横浜クリニック 新耳鼻いんこう科外来について

耳鼻いんこう科長 診療科教授

中山明仁

2019年4月より、横浜クリニック耳鼻いんこう科長として着任し、常勤体制が再開されてから半年が経ちました。お陰さまで、外来患者・手術患者共に増加し順調に運営をしております。この間、新耳鼻いんこう科外来の拡張・移転に向けて、看護部、薬剤部・検査部、事務部、機器メーカー、工事関係者との綿密な協議を経て、9月末に

外来の工事・移転が完了しました。移転に伴って、藤田芳史医師が講師として10月1日から着任し、2診体制となりました。新耳鼻いんこう科外来では、診察室の個室化、新診療ユニット、NBI内視鏡システムの導入などにより診療体制がより強化されました。オレンジとブルーの明るい色彩で配色した診療室と改善された導線は、患者のみでなく医療者にとっても居心地のよい空間になりました。



スタッフが一丸となり、患者中心の質の高い医療を提供して参りたいと考えております。今後とも宜しくお願い申し上げます。



新耳鼻咽喉科外来スタッフ  
左より、大岩、佐藤、中山、飯窪、藤田、進藤、小林

## 横浜クリニック避難訓練の実施

2019年11月18日(月)に2019年度第2回防災訓練を行いました。今回は地震発生後に津波が来るという想定で16時00分に訓練を開始、自衛消防隊長指示の放送を聞き、各階の自衛消防班の誘導のもと避難を開始、16時10分に7階大会議室へ避難がすべて完了しました。職員の避

難だけでなく、「患者役」「津波避難者役」なども設定し、外部の方の受付の流れも行いました。

その後、横浜市神奈川区役所の危機管理・地域防災担当の方にスライドと動画を用いて地震と津波についてのお話と、普段から災害が起きた時をイメージし、備えることの



大切さをお話いただき、防災訓練を終えました。

実際に災害が起きた際もこの防災訓練を生かし、混乱を

きたさないようスムーズに避難や指示が出来るよう努めてまいります。



2019年11月3日(日)、「零話～新たなストーリー～」をテーマに今年で55回を迎える稲岡祭が開催されました。今年も歯科大生と短大生とが一丸となり、学園祭を盛り上げ、お子様からお年寄りの方まで多くのお客様にご来場いただきました。野外ステージではこの日のために一生懸命練習した音楽部・ポップス部・軽音楽部が会場を盛り上げました。その後、スペシャルゲストの「湘南パイプキャッツ」のステージがあり、「長久友紀」さん「石橋桃」さんのトークショー&質問コーナーが行われました。今年は学部対抗カラオケバトル「稲岡杯」が行われ、大盛況のまま幕を閉じました。各クラブや有志団体からは「揚げたこ焼き」「焼きそば」「フランクフルト」といった馴染みのある出店で会場を賑わせ、「中華揚げパン」などの国際色のある出店もあり大盛況でした。地

域活動市民団体の方々による様々なブースもあり、地域の方々とも一緒に盛り上げることができました。毎年恒例の「無料歯科相談」「看護医療体験」なども加わり大変賑やかな学園祭となりました。

# 第55回 稲岡祭 零話 ～新たなストーリー～







この度は第55回稲岡祭“零話～新たなストーリー～”にご来場いただき、ありがとうございました。第55回稲岡祭開催に伴い、本学学生をはじめ大学職員・先生方、並びに地域の皆様にはご協力賜り厚く御礼申し上げます。

今年の稲岡祭テーマである“零話～新たなストーリー～”には、「令和最初の稲岡祭でそれぞれの物語の零話が創られ、そこから新たなストーリーが生まれることを願って」という意味が込められています。新たな年号という節目に相応しく、今までとは一味違う稲岡祭を皆様にお届けできれば、という思いから決めさせていただきました。

今年も、地域活動市民団体の皆様には多数ご出展いただき御礼申し上げます。学生は飲食店舗での販売や、実習室で無料歯科検診・看護体験等を行いました。また、1組の芸人さん、2人の声優さんをお呼びしてのステージ、そして学部対抗の



カラオケ大会で来場者の方々に楽しんでいただけたことを感謝しております。

私たち学生は今後も大学の発展に協力し、地域の発展に貢献していきたいと思っております。ありがとうございました。

(稲岡祭実行委員長)



## 講座紹介

### 口腔統合医療学講座

講座長 教授 向井義晴

私共の口腔統合医療学講座は保存3分野、補綴、小児歯科、矯正の各領域を融合させた大講座であり、英語表記は“Department of Oral Interdisciplinary Medicine”です。現在は、助手9名、助教15名、講師9名、准教授5名、教授6名の他、多くの非常勤教員や大学院生により構成されています。病院では総合診療科、先進歯科医療センター、医科歯科連携セン

ター、小児歯科、矯正歯科の各診療科を担当し、5年生、6年生の臨床実習では参加型臨床実習を行っています。

総合診療科は、教育機関としての大学附属病院の特色を生かし、成人の一般的な歯科治療を総合的に進める診療科であり、専門性の高い治療は先進歯科医療センターならびに医科歯科連携センターで行います。また、小児歯科は小児の歯科疾患すべてに対して診断・予防・治療を行い健康的な永久歯列を育むことを目



的にしており、矯正歯科では顎運動の分析や顎顔面の形態分析などの多角的な資料をもとに詳細な治療を行っています。専門性は各領域に分かれてはいますが、口腔統合医療

学という名称が示すように、領域間の融合を図りながら、口腔全体の疾病予防、機能的・審美的回復を目標に、診療、研究を行っています。

## 学生食堂リニューアル

夏休み期間を利用し、学生食堂1Fの約半分(260m<sup>2</sup>)のスペースをリニューアル致しました。

流行のカフェのイメージを取り入れ、プライベート空間を重視し、背丈のあるソファ席をメインに、赤と黒のペアチェアが目を引くテーブル席や、窓一面に配した一人掛けのカウンター席と、バラエティ豊かに変貌を遂げました。

また、レイアウトを工夫する事で、座席数は従来から10席増加し、すべての座席

にコンセントを配し、利便性の向上にも配慮しました。

今回のリニューアルについては、学生会からの多大な協力を得て施工することができました。引き続き、食事も含め支持されるよう、計画をもってリノベーションを図ります。

### 【水曜日はパンの日】

「パンの販売をして欲しいです!!」と、学食の打合せ時に学生から声が上がりました。授業の合間の短い時間に手軽に買えてぱっと食べられ

るパンを是非!という切実なものでした。

学内販売店を探していたところが、快く手を挙げてくれたのが野比の就労支援B型作業所ピケマルシェ365さんでした。パン販売はおかげ様で好調に推移しており、この実績は、第2の事業者様も加わることに繋がりました。津久井浜のプロートバウム様で、地元でも大人気のドイツのパン屋さんです。

現在は、毎月第1・3・5週の水曜日がピケマルシェさん、第2・4週の水曜日がプロートバウムさんとなっております。

将来的には、パンの販売が本学に根付き毎日販売ができるようになれば嬉しい限りです。



プロートバウム



ピケマルシェ 365





## 教学部だより

### 歯学部

#### 歯学部体入賞者

第51回全日本歯科学学生総合体育大会で入賞した学生は下記のとおりです。

【スキー部】歯学部3年齋

藤麻梨奈さんが女子個人総合優勝・スーパー大回転女子準優勝・大回転女子優勝・回転女子で優勝しました。【柔道部】団体戦準優勝、歯学部1年武藤勝太郎さんが無段の部第一位、歯学部3年忠縄篤紀

さんが無段の部第三位、歯学部3年山下敬隆さんが73kg級第三位でした。【陸上部】歯学部4年菅原学さんが男子円盤投第一位・男子砲丸投第一位でした。【アーチェリー部】歯学部1年石原詩恵利さんが新人戦女子優勝でした。【ゴルフ部】歯学部3年

島倉晴香さんが女子個人の部第二位でした。【水泳部】歯学部2年加茂百萌華さんが女子50m背泳ぎ第三位・女子100m背泳ぎ第三位、歯学部1年松原里々楓さんが女子バタフライ50m新人戦第二位でした。

#### 2019年度 第2回学年別懇談会

2019年11月、神奈川歯科大学にて第2回学年別懇談会が開催されました。昨年度より各学年での開催となりましたが、多くの保護者の皆様に

ご出席いただきました。各学年主任・担任より現在の授業状況や学生のサポート体制について説明がありました。その後、希望者に対して各担任と個別面談を実施いたしました。



### 短期大学部

#### 2019年度 神奈川歯科大学短期大学部 生涯学習セミナー

2019年10月18日(金)に、木村美津子先生(元了徳寺大学健康科学部看護学科准教授)による「認知症に強い脳をつくろう!」のテーマで公

開講座を開催し、50～90歳の69名の方々にご参加いただきました。認知症の発症や進行を遅らせるための予防について最新の研究結果を踏まえた講義と脳トレゲームを交えた内容で、おおいに盛り上がりしました。

受講後のアンケートでは、

大変楽しく受講できたというご意見が多く聞かれました。また、「自分の弱点がわかった」や「日々の生活にどのように取り入れればよいのか」がわかった、「地域活動に利用していきたい」という意見も聞かれ、満足度の高いセミナーとなりました。

今後も、参加者のニーズに応えられるようなセミナーを開催していきたいと考えております。



#### 戴帽式

2019年9月7日(土)に今年度の戴帽式が挙行されました。これまで看護師の象徴だったナースキャップは、感染予防や医療安全の観点から、1990年代の後半に廃止が始まり、今世紀に入りほとんどの病院でみられなくなりました。戴帽式は、近代看護

の生みの親であるナイチンゲールの精神を受け継ぐという意味を持ちます。今日では共に医療職を目指す看護学生と歯科衛生士学生が、初めての病院実習に臨む前に、職業に対する意識を高め、またその責任の重さを自覚するための儀式として行っています。この日の誓いを胸に、愛の精神



に満ちた看護師、歯科衛生士として人びとの健康を支え、

社会に貢献することを期待します。

### TDH

#### 第6回体験入学会「指模型作製実習」

2019年9月21日(土)に今年度第6回目となる体験入学会を行いました。秋を感じる気候の中、在校生の案内で来

校者をおもてなし! 今回の体験は印象材や石膏を使って指の模型を作製しました。初めて触る材料や器具ばかりでしたが在校生がしっかりとサポートをして、皆さんうまく模型を完成させていました。

学校や歯科衛生士について



よく理解していただけたイベントになったかと思います。



## 大学院だより

### 2019 年度 FD 講演会を開催

2019 年 10 月 25 日(金)に大学院 FD 講演会が第 1 小講堂で開催され、129 名が参加しました。FD 講演会に先立ち、2019 年度大学院全体

ミーティングを実施し、副研究科長の本本茂成教授が大学院生に対し、カリキュラムマップをはじめ、大学院生にとって学位申請までに実施すべき必要な事項等についての

説明がなされました。

FD 講演会は、国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構、量子医学・医療部門信頼性保証・監査室 主任研究員の栗原千絵子氏に、「研究倫理指針と臨床研究法の最新動向―違反・逸脱(?)の

事例に学ぶ―」をテーマにご講演頂き、参加者は熱心に耳を傾けていました。



## 図書館だより

### 第 44 回卒業生の論文が JDR の表紙に

第 44 回卒業生の山田峻太郎先生が筆頭著者の論文「Molar Bud-to-Cap Transition Is Proliferation Independent」が Journal of Dental Research (JDR) の Vol.98 No.11, 2019 に掲載され、論文中の fig.1

画像の一部が表紙を飾りました。

山田先生は本学卒業後、イギリスのキングスカレッジロンドンで修士号を取得、現在はノルウェーのベルゲン大学に在籍されています。

JDR は図書館で所蔵しており、また、学内ネットワー

ク上からも閲覧が可能ですので、ぜひご利用ください。

山田先生をはじめ、本学卒業生の益々のご活躍をお祈り申し上げます。

### <論文情報>

Yamada S, Lav R, Li J, Tucker AS, Green JBA : Molar Bud-to-Cap Transition Is Proliferation Independent.

Journal of Dental Research, 98(11), 1253-1261, 2019.



### 歯学部 2020 年度 入学試験実施一覧

歯学科 (募集人員 110 名 男女)		
試験区分	試験日	合格発表
一般 1 期	1 月 25 日 (土) 1 月 26 日 (日)	1 月 30 日 (木)
大学入試センター試験利用 1 期	1 月 25 日 (土) または 1 月 26 日 (日)	2 月 7 日 (金)
一般 2 期	2 月 16 日 (日)	2 月 20 日 (木)
大学入試センター試験利用 2 期		
一般 3 期	3 月 8 日 (日)	3 月 11 日 (水)

※詳細はホームページをご覧ください

### 【大 学 院】2020 年度 入学試験実施一覧

歯学研究科 募集人員：18 名 男女		
試験区分	試験日	合格発表
Ⅲ期、一般選抜 社会人特別選抜	2月18日(火)	3月 2日(月) 午後2時 HP 上

※詳細はホームページをご覧ください

### 【短期大学部】オープンキャンパス開催日程

日 程	内 容
3月15日(日)	学科説明、入試説明 体験授業、学内見学 個別相談、先輩と話そう！

※全日 13:00～16:00【事前予約制】

※詳細は HP をご確認ください (URL: <http://www.kdu.ac.jp>)

### 短期大学部 2020 年度 入学試験実施一覧

歯科衛生学科・看護学科		
歯科衛生学科（募集人員 120 名 男女）		
試験区分	試験日	合格発表
一般	1 月 26 日（日）	1 月 29 日（水）
特待生		
AO 3 期	個別にお知らせいたします	
看護学科（募集人員 80 名 男女）		
試験区分	試験日	合格発表
一般	1 月 26 日（日）	1 月 29 日（水）
特待生		
AO 2 期	3 月 1 日（日）	3 月 11 日（水）

※詳細はホームページをご覧ください

### 【東京歯科衛生専門学校】2020 年度 入学試験実施一覧

試験区分	期	面談・試験日	合格発表
指定校	四期	1 月 25 日 (土)	1 月 28 日 (火)
学校推薦入試	四期	1 月 25 日 (土)	1 月 28 日 (火)
一般入試	三期	1 月 25 日 (土)	1 月 28 日 (火)
	四期	2 月 15 日 (土)	2 月 18 日 (火)
	五期	3 月 7 日 (土)	3 月 10 日 (火)
社会人入試	随時	2019 年 9 月 12 日 (木)～ 2020 年 3 月 7 日 (土)	試験日から 3 日以内

※詳細はホームページをご覧ください

## スカジャン

鹿島勇理事長は、2019 年 7 月にヨコスカ・ジャズ協会の会長に就任されました。横須賀ジャズクラブ主催の「横須賀トモダチジャズ」(11 月

2 日(土)～3 日(日)開催)では、本学名誉教授横地千仞先生が描いた「赤と黒」をバックに、前には「口は災いの下」と「曼荼羅」の刺繍が

されたスカジャン姿で挨拶をされ、会場はかなりの盛り上がりを見せていました。横地千仞先生の画は本学資料館で展示しており、一部はホームページでもご覧いただけます。

